

Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンスステータスとプライバシー

- [プレゼンス ステータスについて、2-2 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスの種類、2-3 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスの指定方法、2-6 ページ](#)
- [カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法、2-9 ページ](#)
- [連絡先のブロック、2-11 ページ](#)
- [ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法、2-13 ページ](#)

プレゼンス ステータスについて

連絡先リストに登録されているユーザが連絡可能かどうかを確認するには、プレゼンス [ステータス](#) を使用します。また、必要に応じて、自分のプレゼンス ステータスを手動またはメニューで設定することもできます。

デフォルトでは、各ユーザのプレゼンス ステータスはシステムによって自動的に判別されます。ユーザがコンピュータや電話機を使用している場合や、Microsoft Outlook の予定表によってユーザが会議に出席していることが示される場合は、システムによってそれらのステータスが検出されます。メニューで設定することによっても、プレゼンス ステータスの判別に使用される要素を設定できます。

社内の連絡先またはプレゼンス ステータスを表示することを承諾した他の会社の連絡先のプレゼンス ステータスのみが表示されます。



(注)

Cisco Unified Personal Communicator 以外のアプリケーション (デスクの電話や [IP Phone Messenger](#) など) を介して指定したプレゼンス ステータスまたは設定は、Cisco Unified Personal Communicator にも適用されます (逆の場合も同様です)。

関連トピック

- [プレゼンス ステータスの種類、2-3 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスの指定方法、2-6 ページ](#)
- [カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法、2-9 ページ](#)

プレゼンス ステータスの種類

メイン [コンソール](#)の連絡先リストの上にあるドロップダウン リストには、ユーザ自身のプレゼンス ステータスが表示されます。

プレゼンス ステータス	説明
応対可能	ユーザは Cisco Unified Personal Communicator にログインしており、現在コンピュータまたは電話を使用しています。あるいは、ユーザ本人がステータスを [応対可能] に設定しました。
(複数)	ユーザは応対可能である可能性があります。ユーザ名の上にマウス カーソルを移動するとステータスが表示されます。
不在	ユーザがステータスを [不在] に設定しました。
応答しない	応答しないステータス 、 2-4 ページ を参照してください。
オフライン表示	オフライン表示ステータス 、 2-5 ページ を参照してください。
不在中	外出中ステータス 、 2-5 ページ を参照してください。
オフラインまたは不明	ユーザは Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないか、ユーザによってブロック対象リストに追加されているか、またはシステムがユーザのステータスを判別できません。
(なし)	ユーザは Cisco Unified Personal Communicator を介してプレゼンス ステータスおよびインスタントメッセージを交換するように設定されていません。

関連トピック

- [Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスとプライバシー](#)、[2-1 ページ](#)
- [プレゼンス ステータスに関する問題の解決方法](#)、[10-7 ページ](#)
- [ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法](#)、[2-13 ページ](#)

応答しないステータス

組織によっては、この機能を使用できない場合があります。

ユーザのプレゼンス [ステータス](#)を応答しないに設定すると、他のユーザはこのユーザへのインスタントメッセージを開始できなくなります。このユーザがインスタントメッセージセッションを開始した場合、受信者はこのユーザがメッセージ ウィンドウを閉じるまで応答できます。

プレゼンス ステータスが応答しないに設定され、[電話モード](#)が[ソフト フォン](#)に設定されたユーザにコールが発信されると、通常の場合、コールはアラートなしでコンピュータを介したボイスメールへ直接転送されます。

ただし、次の状況が発生します。

- [デスクの電話](#)から呼び出し音が聞こえる場合があります。
- ボイスメール以外の番号にコールが転送される場合があります。
- 着信コールが [通信履歴] リストに表示されない場合があります。

次の要素が着信コールの動作に影響を与える場合があります。

- 使用する各デバイスの、[応答しない]、[着信コールの転送]、[呼出音設定] の Cisco Unified Communications Manager ユーザ オプション Web ページでの設定
- 電話が共有回線であるかどうか（たとえば、ユーザが役員と回線を共有する管理者である場合）

詳細情報の入手先

- Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション Web ページにアクセスしてください。詳しくは、管理者に問い合わせてください。
- デスクの電話に添付されているマニュアルを参照してください。

関連トピック

- [プレゼンス ステータスについて、2-2 ページ](#)
- [手動でのプレゼンス ステータスの変更、2-7 ページ](#)

オフライン表示ステータス

組織によっては、この機能を使用できない場合があります。

プレゼンス [ステータス](#) をオフライン表示に設定すると、ユーザがログインしていても他のユーザにはユーザのプレゼンス情報が表示されません。連絡先リストにユーザを登録している他のすべてのユーザには、ユーザがオフラインとして表示されます。

オフライン表示ステータスは、Cisco Unified Personal Communicator の発信機能の使用には影響しません。

このステータスは永続的ではありません。セッションごとリセットする必要があります。

外出中ステータス

組織によっては、この機能を使用できない場合があります。

プレゼンス [ステータス](#) を外出中に設定すると、ユーザがログインしていても他のユーザにはユーザのプレゼンス情報が表示されません。連絡先リストにユーザを登録している他のすべてのユーザには、ユーザがオフラインとして表示されます。このステータスを設定する場合、表示するメッセージを指定できます。

外出中ステータスは、Cisco Unified Personal Communicator の発信機能の使用には影響しません。このステータスは永続的です。いったん設定すると、手動で変更する必要があります。



(注)

プレゼンスを外出中に設定中にインスタント メッセージを受信する場合があります。これは、連絡先がどのようにメッセージを開始したのかによって決まります。外出中ステータスは、応答しないステータスほど制限的ではありません。

関連トピック

- ・ [「不在中」メッセージの表示、2-8 ページ](#)

プレゼンス ステータスの指定方法

- [プレゼンス ステータスの指定方法、2-6 ページ](#)
- [手動でのプレゼンス ステータスの変更、2-7 ページ](#)
- [「不在中」メッセージの表示、2-8 ページ](#)

プレゼンス ステータスの設定

アクティブなセッションのプレゼンス ステータスをいつでも手動で変更できません。Outlook の予定表（または Microsoft Exchange との通信に使用する Outlook Web Access などのツールの予定表）に登録された予定に基づいてプレゼンス ステータスを表示することもできます。デフォルト（メイン）以外の予定表は評価されません。

予定表に基づいてプレゼンス ステータスを表示する場合は、Cisco Unified Personal Communicator にログインしていないときでも、予定表を使用してプレゼンス ステータスが判定され、表示されます。

すべてのチェック ボックスのチェック マークを外し、[次の場合に電話中と表示する] で [なし] を選択した場合は、セッション中に手動でステータスを変更しない限り、ステータスは常に [応対可能] と表示されます。

手順

ステップ 1 [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。

ステップ 2 [ステータス] をクリックします。

ステップ 3 オプションを選択します。

関連トピック

- [Cisco Unified Personal Communicator でのプレゼンス ステータスとプライバシー、2-1 ページ](#)
- [手動でのプレゼンス ステータスの変更、2-7 ページ](#)

- 「不在中」メッセージの表示、2-8 ページ
- プレゼンス ステータスに関する問題の解決方法、10-7 ページ
- 連絡先のブロック、2-11 ページ

手動でのプレゼンス ステータスの変更

表示するプレゼンス ステータスを手動で指定しない限り、プレゼンス ステータスは自動的に変更されます。手動で選択したステータスは、別のステータスに変更するか、Cisco Unified Personal Communicator からログアウトするまで表示され続けます。

Cisco Unified Personal Communicator からログアウトした後でも、別のプレゼンス ステータスを選択するまで、応答しないステータスは有効なままです。

手順

手順	方法
現在のプレゼンス ステータスを指定する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 連絡先リストの上に表示されているプレゼンス ステータスをクリックします。 2. オプションを選択します。
手動選択をキャンセルして、システムが現在の活動を自動的に反映するようにする	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在のステータスをクリックします。 2. [応対可能] を選択します。 <p>プレゼンス ステータスを判定するときにシステムに評価させたい活動が反映されるように設定されていることを確認してください。</p>

関連トピック

- プレゼンス ステータスの設定、2-6 ページ
- プレゼンス ステータスの種類、2-3 ページ
- カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法、2-9 ページ
- プレゼンス ステータスに関する問題の解決方法、10-7 ページ

「不在中」メッセージの表示

「不在中」メッセージはログアウト後も表示され続けます。次回のログイン時に、不在中メッセージを無効にするように求められます。

手順

- ステップ 1** [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。
 - ステップ 2** [ステータス] をクリックします。
 - ステップ 3** [すぐに「オフライン」と表示して、次のメッセージを表示する] にチェックマークを付けます。
 - ステップ 4** 表示するメッセージを入力します。
 - ステップ 5** [ステータス設定] ウィンドウを閉じます。
-

関連トピック

- [カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法、2-9 ページ](#)

カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法

他のユーザに自分のプレゼンス [ステータス](#) に関する追加情報を提供するために、カスタム ステータス メッセージを作成できます。これらのメッセージは、プレゼンス ステータス オプションのリストに追加されます。応答しないステータスではカスタム メッセージを追加できません。

- [カスタム プレゼンス ステータス メッセージの作成、2-9 ページ](#)
- [カスタム プレゼンス ステータス メッセージの修正、2-10 ページ](#)
- [カスタム プレゼンス ステータス メッセージの削除、2-10 ページ](#)

カスタム プレゼンス ステータス メッセージの作成

手順

- ステップ 1** [コンソール](#) 上部付近にある [応対可能] ポップアップ メニューをクリックし、[ステータスメニューの編集] を選択します。
- ステップ 2** 追加するメッセージ カテゴリ（[応対可能] または [不在]）の下にある [メッセージの追加] アイコンをクリックします。
- ステップ 3** カスタム ステータス メッセージを入力します。
- ステップ 4** **Return** キーを押します。
- ステップ 5** [終了] をクリックします。

プレゼンス [ステータス](#) オプションのリストにカスタム メッセージが追加されます。

関連トピック

- [手動でのプレゼンス ステータスの変更、2-7 ページ](#)
- [「不在中」メッセージの表示、2-8 ページ](#)

カスタム プレゼンス ステータス メッセージの修正

手順

-
- ステップ 1** [コンソール](#) 上部付近にあるプレゼンス [ステータス](#) ポップアップ メニューをクリックし、[ステータスメニューの編集] を選択します。
 - ステップ 2** 修正するメッセージをダブルクリックします。
 - ステップ 3** 新しいメッセージを入力します。
 - ステップ 4** **Return** キーを押します。
 - ステップ 5** [終了] をクリックします。
-

関連トピック

- [カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法、2-9 ページ](#)

カスタム プレゼンス ステータス メッセージの削除

手順

-
- ステップ 1** [コンソール](#) 上部付近にある [応対可能] ポップアップ メニューをクリックし、[ステータスメニューの編集] を選択します。
 - ステップ 2** 削除するメッセージをダブルクリックします。
 - ステップ 3** メッセージの下にある [メッセージの削除] アイコンをクリックします。
 - ステップ 4** [終了] をクリックします。
-

関連トピック

- ・ [カスタムのプレゼンス ステータス メッセージの追加方法、2-9 ページ](#)

連絡先のブロック

組織によっては、この機能を使用できない場合があります。

Cisco Unified Presence ユーザ オプション Web ページなどの関連アプリケーションを使用してユーザをブロックする場合、これらの変更は Cisco Unified Personal Communicator に適用されます（逆の場合も同様です）。

ブロックされた連絡先の動作は次のとおりです。

- ・ ユーザのプレゼンス [ステータス](#) がオフラインとして表示されます。
- ・ ユーザにコールできます。
- ・ ユーザとのインスタント メッセージを開始できません。
- ・ ユーザがセッション ウィンドウを閉じるまで、ユーザが開始したインスタント メッセージに応答できます。
- ・ ユーザがブロックしたことは通知されません。

手順

手順	方法
連絡先をブロックする	<ol style="list-style-type: none">1. 連絡先のリスト内の名前をクリックします。2. [連絡先] > [ブロックする連絡先] の順にクリックします。 <p>インスタント メッセージ セッション内で連絡先をブロックすることもできます。</p>

■ 連絡先のブロック

手順	方法
LDAP ディレクトリと連絡先リストを検索してブロックするユーザを探す	<ol style="list-style-type: none"> 1. [Cisco UPC] > [環境設定] をクリックします。 2. [プライバシー] をクリックします。 3. [ブロックリストに追加] アイコンをクリックします。 [プライバシー設定] ウィンドウが表示されます。 4. 検索フィールドに名前を入力します。 5. Return キーを押します。 6. ブロック リストに追加する名前を選択します。 7. [ブロック] をクリックします。
ブロックしたすべての連絡先のリストを参照する	<ol style="list-style-type: none"> 1. [Cisco UPC] > [環境設定] の順にクリックします。 2. [プライバシー] をクリックします。 3. [ブロックリスト] をクリックします。
リスト上の連絡先のブロックを解除する	<ol style="list-style-type: none"> 1. 名前をクリックします。 2. [連絡先] > [連絡先のブロック解除] の順にクリックします。

トラブルシューティング ヒント

関連トピック

- [連絡先の検索、8-3 ページ](#)
- [ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法、2-13 ページ](#)

ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法

次の機能は、管理者がプレゼンス ステータスとインスタント メッセージをユーザの会社と他の会社の間で交換するように Cisco Unified Personal Communicator を有効にした場合にのみ使用できます。

- [他の会社の従業員のアクセス許可の選択、2-13 ページ](#)
- [プレゼンス ステータス要求への応答、2-15 ページ](#)
- [外部連絡先に対する個々のブロッキング指定の表示と変更、2-16 ページ](#)

他の会社の従業員のアクセス許可の選択

管理者は、Cisco Unified Personal Communicator を介して、プレゼンス ステータスとインスタント メッセージングの共有を他の会社または組織に許可することができます。ただし、この機能に対しては外部の従業員にどのレベルの許可を与えるのかを選択することができます。

デフォルトでは、各従業員はユーザのプレゼンス ステータスを表示するための許可を要求する必要があります。Microsoft Office Communicator を使用していない限り、ユーザにインスタント メッセージを送信するにはユーザの許可が必要な場合があります。

手順

ステップ 1 [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。

ステップ 2 [プライバシー] をクリックします。

ステップ 3 [ドメインの管理] をクリックします。

ステップ 4 ドメイン名をクリックします。



ヒント

会社名の上にポインタを移動するとすべてのテキストが表示されません。

■ ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法

ステップ 5

クリックの対象	手順
承認	該当の会社のすべての従業員がユーザのプレゼンス ステータスを表示することを自動的に許可します。
確認	該当の会社のすべての従業員は、ユーザのプレゼンス ステータスを表示する前にユーザの許可を要求する必要があります。
ブロック	<p>該当の会社のすべての従業員は、ユーザのプレゼンス ステータスの表示、インスタント メッセージのユーザへの送信、およびこれら両方を行うための許可を要求することができません。</p> <p>該当の会社のすべての従業員には、ユーザが常にオフラインとして表示されます。</p>

ステップ 6 各会社にこの手順を繰り返します。

ステップ 7 [OK] をクリックします。

トラブルシューティング ヒント

会社をブロックしても、プレゼンス ステータスの表示とインスタント メッセージのユーザへの送信をすでに許可しているその会社の従業員はブロックされません。その従業員は個別にブロックする必要があります。

関連トピック


- 外部連絡先に対する個々のブロッキング指定の表示と変更、[2-16 ページ](#)

プレゼンス ステータス要求への応答

他の会社の従業員がユーザのプレゼンス ステータスを表示する前にユーザの許可を要求する必要がある場合、各要求に個別に応答する必要があります。

手順

プレゼンス ステータスを共有する要求を受け取ると、次を実行できます。

クリックの対象	手順
受け入れる	プレゼンス ステータスの表示を要求者に許可します。
ブロックリストに追加	<p>要求者をブロック リストに追加し、要求者によるその後の応答の送信を禁止します。要求者は、ユーザのプレゼンス ステータスを表示したり、インスタントメッセージをユーザに送信したりできません。</p> <p> (注) 要求者からプレゼンス ステータスを共有するための最初のインスタント メッセージを受け取る場合があります。</p> <p>要求者には、常にオフラインとしてユーザが表示され、プレゼンス ステータスをブロックしたことは通知されません。</p>
無視	<p>応答せずに要求を却下します。要求者はユーザのプレゼンス ステータスを表示できません。</p> <p>要求は後で表示されるか、次のログイン時に表示されます。</p>

トラブルシューティング ヒント

- ・ [次のユーザを受け入れる場合は連絡先一覧に追加する。] をクリックすると、[ブロック] または [無視] をクリックする場合にこのオプションは適用されません。

■ ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法

- ・ オフライン中に要求を受け取った場合、ログイン時に要求のリストが表示されることがあります。応答するには、名前をクリックしてからオプションをクリックするか、[すべて選択] をクリックしてからオプションを選択します。

関連トピック

- ・ [他の会社の従業員のアクセス許可の選択、2-13 ページ](#)
- ・ [連絡先のブロック、2-11 ページ](#)
- ・ [外部連絡先に対する個々のブロッキング指定の表示と変更、2-16 ページ](#)

外部連絡先に対する個々のブロッキング指定の表示と変更

これらの手順は、ユーザが応答した個人に対してのみ適用されます。

手順

手順	方法
他の会社のどの個人に対してプレゼンス ステータスの表示を許可したのかを参照する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。 2. [プライバシー] をクリックします。 3. [外部の連絡先] をクリックします。 外部の連絡先がない場合、このオプションは表示されません。
会社のすべての従業員に対して、許可を要求する必要なしにユーザのプレゼンス ステータスを表示することを許可した場合、これらの従業員はこのリストに表示されません。	

手順	方法
<p>以前にプレゼンス ステータスの表示を許可した人にプレゼンス ステータスの表示を禁止する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。 2. [プライバシー] をクリックします。 3. [外部の連絡先] をクリックします。 4. リスト内の名前をクリックします。 5. [ブロック] をクリックします。 <p>相手には、常にオフラインとしてユーザが表示され、プレゼンス ステータスをブロックしたことは通知されません。</p>
<p>別の会社で個人的にブロックされた相手にユーザのプレゼンス ステータスを表示することを許可する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. [Cisco UPC] > [環境設定] の順に選択します。 2. [プライバシー] をクリックします。 3. ブロックされたユーザの名前をクリックします。 4. [ブロックリストから削除] アイコンをクリックします。 <p>該当のユーザは即座に外部の連絡先リストに移動し、プレゼンス ステータスを表示できます。</p>

トラブルシューティング ヒント

別の会社のすべての従業員に、許可を先に要求する必要なしにユーザのプレゼンス ステータスを表示することを許可した場合、これらの従業員はこのトピックのどのリストにも表示されません。

関連トピック

- [プレゼンス ステータス要求への応答、2-15 ページ](#)
- [連絡先のブロック、2-11 ページ](#)
- [他の会社の従業員のアクセス許可の選択、2-13 ページ](#)

■ ユーザのプレゼンス ステータスを他の会社の従業員と共有する方法